

【属人化を解消し、誰でも運用できる体制へ】 AI 時代のネットワークとセキュリティの運用

～インフラの設計と運用からセキュリティ DX 実現の最前線～

— 講 師 —

東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授 関谷 勇司 氏

日 時	2025 年 7 月 4 日 (金) 午後 1 時～3 時
受講方法	会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信 (2 週間、何度でもご視聴可)
会 場	SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

生成 AI の登場により、企業のネットワーク運用とセキュリティ対策は大きく変革の時代を迎えています。従来、専門知識と経験に依存していたトラブル対応やインシデント分析といった業務に、大規模言語モデル (LLM) を応用することで、対応スピードと精度の両立が可能になった。また、RAG や MCP の活用により、高度化した実運用を行う AI が実現されつつある。

そこで本講演では、AI を活用したネットワークの設計・運用およびセキュリティ対策への適用に関する最新動向を研究面と実用面から紹介し、今後の可能性についてまとめる。

1. LLM による自動化の可能性
2. LLM による可能性と危険性
3. ネットワーク運用と設計
4. セキュリティ対策の自動化
5. MCP と RAG による LLM の高度化
6. AI によるサイバーフィジカルの可能性
7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 関谷 勇司 (せきや ゆうじ) 氏

1997 年 京都大学総合人間学部卒。2005 年 慶應義塾大学政策・メディア研究科 後期博士課程修了。博士 (政策・メディア)。1999 年に米国 USC/ISI にて DNS の研究に従事。2002 年に東京大学情報基盤センター助手に就任。同センター講師、准教授を経て 2019 年現職。2024 年より情報セキュリティ教育研究センター長兼務。次世代ネットワークプロトコルの研究開発と分散サービスの計測、クラウドの可用性向上、ソフトウェアネットワーキング技術、ならびにサイバーセキュリティに関する研究に従事。2020 年内閣官房政府 CIO 補佐官在、2021 年よりデジタル庁シニアネットワークエンジニア兼業。

